

# Protein L HC-S を用いて精製したマウス・ラット血清IgGのアイソタイピング試験

## 試薬

- Mouse Immunoglobulin Isotyping ELISA Kit (BD Bioscience; 550487)
- Rat Immunoglobulin Isotyping ELISA Kit (BD Bioscience; 557081)

## サンプル

- マウス血清から Protein L HC-S を用いて精製したIgG
- ラット血清から Protein L HC-S を用いて精製したIgG
- マウス血清
- ラット血清

## 反応プロトコール

- Kit のプロトコールに従って測定

96ウェルプレートに抗マウスIgG  
または抗ラットIgG をコーティング  
↓ 37°C、1時間インキュベート  
ブロッキング液を添加  
↓ 室温、30 分間インキュベート  
サンプル添加  
↓ 室温、60 分間インキュベート  
HRP 標識 IgG を添加  
↓ 室温、60 分間インキュベート  
発色試薬を添加  
↓  
450 nm 吸収を測定

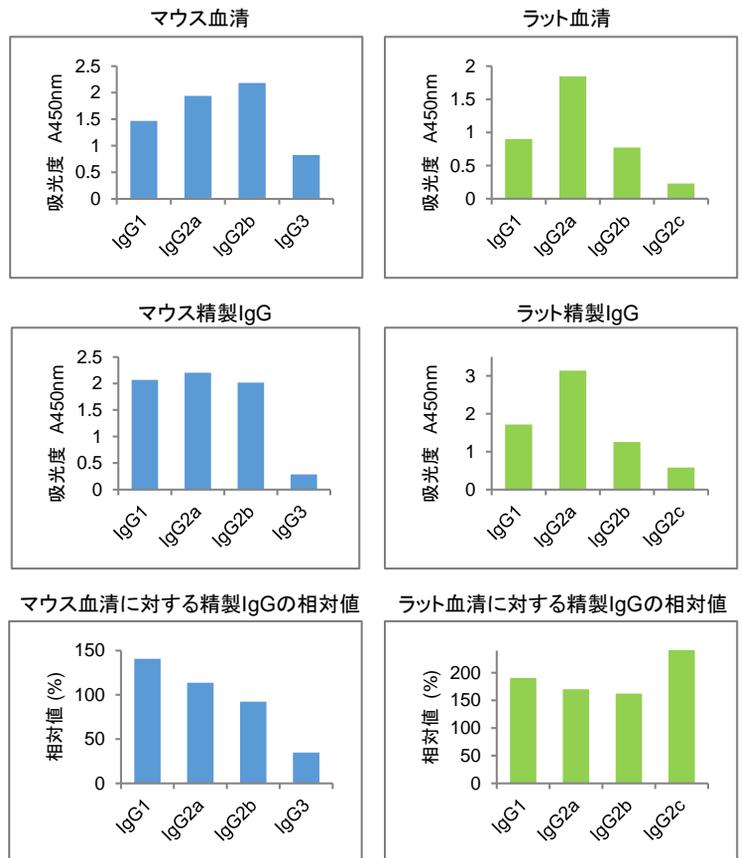


図1. マウス血清から Protein L HC-S を用いて精製したIgG

図2. ラット血清から Protein L HC-S を用いて精製したIgG

マウス血清、ラット血清、および各血清から Protein L HC-S を用いて精製した IgG のアイソタイピング試験を実施した。得られた450nmの吸光度を血清値に対する相対値 (%) で評価した。マウス血清から精製した IgG は、IgG3の血清値に対する相対値がやや低い値となったが、概ね精製前の血清と類似のアイソタイププロファイルを示した(図1)。一方、ラット血清から精製したIgGは、精製前の血清と非常によく一致したアイソタイププロファイルを示した(図2)。以上の結果から、Protein L HC-SはマウスIgGの4種類のアイソタイプ (IgG1, IgG2a, IgG2b, IgG3)、およびラットIgGの4種類のアイソタイプ (IgG1, IgG2a, IgG2b, IgG2c) のすべての精製に利用できることが分かった。